

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドルストレート通貨ペア(ドル円、ユーロドル、豪ドルドル、ポンドドル)、クロス円通貨ペア(ユーロ円、豪ドル円、ポンド円)に関して、週足、日足、4時間足、1時間足分析を掲載します。

分析は、全て、先週末3月4日、日足終値時点(NY時間午後5時)での判断です。尚、内容は、私の有料情報サービス「実践トレードコーチング掲示板」(<https://www.eagle-fly.com/mur/>)から一部抜粋(毎日お届けしている中で、月曜日の朝一番の配信分のみ)です。毎日の配信をご希望の方は、ぜひ「実践トレードコーチング掲示板」(<https://www.eagle-fly.com/mur/>)をご覧ください。(動画配信を毎日行っております。無料お試し期間もあります。)

ところで、スーパーボリンジャーは、价格的要素を重視し、より短期の判断、スパンモデルは、時間的要素を重視し、より長期の判断です。そして、スパンモデルシグナルは、より短期の判断、赤色スパンは、より長期の判断です。

◆「マーフィーFX」YouTubeチャンネルはこちらです。

<https://www.youtube.com/channel/UCTQj289ZKb3JgFqj5RefBcg>

様々な相場解説を無料動画で視聴出来ます。

<<<主要7通貨相場週足、日足、4時間足、1時間足分析>>>

★「週足」はポジショントレードの大局観把握、

「日足」はスイングトレードの大局観把握、

「4時間足」はゆったりデイトレードの大局観把握、

「1時間足」はデイトレードの大局観把握に特に有効です。

尚、特に、1時間足は、刻々と変化するため、その都度の判断が必要です。

また、売買判断は、トレードスタイル別の大局観より下位の時間軸チャートにて判断することをお勧めします。

そして、トレード戦略の解説は、YouTubeで配信している「実践トレード解説」をご参考にしてください。

★尚、今週号より、内容構成を大幅に変更しております。

■ドル円

<<週足分析>>

緩やかな上昇トレンド局面と調整反落局面の2つのシナリオが併存。
相場観としては、終値が+2σラインを上回るまでは、調整反落シナリオを優先。
目先、引き続き、センターライン近辺を下値サポートとして意識しておきたい。

<<日足分析>>

レンジ局面。
目先、カウンタートレーディングを行うか、相場の放れを待ってトレンドに乗りたい場面。
相場の放れの際の条件として、初動にて終値が+2σラインを超えることとしたい。

<<4時間足分析>>

レンジ局面。
目先、カウンタートレーディングを行うか、相場の放れを待ってトレンドに乗りたい場面。
相場の放れの際の条件として、初動にて終値が+2σラインを超えることとしたい。
買いシグナル及び赤色スパン陽転の逆行パターンの売りサイン点灯時の最終ターゲットである-2σラインに到達済み。
「遅行スパンの同期性」にも注目。すなわち、安値を付けたローソク足を通過するタイミングであり、一旦反転上昇しやすい場面と読める。

<<1時間足分析>>

本格下落トレンド局面。
終値と-1σラインとの位置関係を注視したい場面。
尚、売りシグナルや赤色スパン陰転の逆行パターンの買いサイン点灯中。
このような場面では、まずは、スーパーボリンジャーの判断を優先させたい。

■ユーロドル

<<週足>>

本格下落トレンド局面。
終値と-1σラインとの位置関係を注視したい場面。

目先、「走る下落相場」(終値が -2σ ラインを下回る)となっていることで、今後、「リバーサルパターン」の発生にも注意したい場面。

<<日足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

尚、相場が走っている(終値が -2σ ラインを下回っている)ことで、売リシグナルと赤色スパン陰転の順行パターンの売りサイン点灯中。遅行スパンが下放れており、売り圧力が強まっている。

<<4時間足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

目先、「走る下落相場」(終値が -2σ ラインを下回る)となっていることで、今後、「リバーサルパターン」の発生にも注意したい場面。

<<1時間足分析>>

調整の反騰局面。

終値が -1σ ラインを上回ったことで、反転上昇局面に入ったと判断される。

上値ポイント(レジスタンス)として、センターラインを意識しておきたい場面。

■豪ドル/ドル

<<週足>>

レンジ局面。

レンジ上限の目途である $+2\sigma$ ラインに向けて上昇中。

遅行スパンがローソク足に沿って上げてきている点にも注目(同期性)。

<<日足分析>>

本格上昇トレンド局面。

終値と+1σラインとの位置関係を注視したい場面。

目先、「走る上昇相場」(終値が+2σラインを上回る)となっていることで、
今後、「リバーサルパターン」の発生にも注視したい場面。

赤色スパンが陽転する中、終値が+2σラインを上回っており、「順行パターン
の買いサイン」となっている。

<<4時間足分析>>

本格上昇トレンド局面。

終値と+1σラインとの位置関係を注視したい場面。

買いシグナルの順行パターンの買いサインも点灯中。

<<1時間足分析>>

基調としての上昇トレンド局面。

「基調としての上昇トレンド局面」とは、遅行スパンが陽転し続けるかぎり、
「押しは買い」となる相場局面のこと。

■ポンドドル

<<週足>>

レンジ局面。

目先、カウンタートレーディングを行うか、相場の放れを待ってトレンドに乗りたい場面。

売りシグナル点灯時の猶予期間中につけた安値ラインが下値サポート。

同ラインは、-2σラインと近い水準であるため、強めのサポートと読む。

<<日足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と-1σラインとの位置関係を注視したい場面。

遅行スパンが下放れており、売り圧力が強まっている。

売りシグナルの順行パターンの売りサイン点灯。

赤色スパンが陰転しており、「1本勝ちパターン」となって当面の安値を付けるか
どうかの瀬戸際に位置。

<<4 時間足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

目先、「走る下落相場」(終値が -2σ ラインを下回る)となっていることで、

今後、「リバーサルパターン」の発生にも注意したい場面。

尚、売りシグナルの順行パターンの売りサインが点灯した点にも注目。

<<1 時間足>>

調整の反騰局面。

終値が -1σ ラインを上回って引けたことで、目先、底堅い展開となりやすい。

目先、センターラインを上値レジスタンスとして意識しておきたい場面。

■ユーロ円

<<週足>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

赤色スパンが陰転しており、「1本勝ちパターン」となって当面の安値を付けるかどうかの瀬戸際に位置。

<<日足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

売りシグナルの順行パターンの売りサイン点灯。

赤色スパン陰転の順行パターンの売りサインも点灯。

遅行スパンが下放れており、売り圧力拡大中。

<<4 時間足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と -1σ ラインとの位置関係を注視したい場面。

<<1時間足>>

本格下落トレンド局面から調整の反騰局面への変化の兆候あり。

終値と -1σ との位置関係を注視したい場面。

すなわち、終値が -1σ ラインを上回ると、調整の反騰局面入りとなる。

■豪ドル円

<<週足>>

レンジ局面。

遅行スパンの「同期性」にも注目。

すなわち、遅行スパンが上昇傾向のローソク足に沿って上昇中。

<<日足分析>>

本格上昇トレンド局面。

終値と $+1\sigma$ ラインとの位置関係を注視したい場面。

終値が $+2\sigma$ ラインを上回っていることから、赤色スパン陽転の順行パターン

の買いサイン点灯中。

買いシグナルについても順行パターンの買いサイン点灯中。

<<4時間足分析>>

調整の反落局面。

終値が $+1\sigma$ ラインを下回ったことで、調整反落局面入りの兆候。

<<1時間足>>

レンジ局面。

目先、カウンタートレーディングを行うか、相場の放れを待ってトレンドに乗りたい場面。

■ポンド円

<<週足>>

レンジ局面。

<<日足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と-1σラインとの位置関係を注視したい場面。

相場が下放れた格好。

<<4時間足分析>>

本格下落トレンド局面。

終値と-1σラインとの位置関係を注視したい場面。

相場が下放れた格好。

<<1時間足>>

本格下落トレンド局面。

終値と-1σとの位置関係を注視したい場面。

★尚、スーパーボリンジャーは、价格的要素を重視し、より短期の判断、スパンモデルは、時間的要素を重視し、より長期の判断となる。また、スパンモデルシグナルは、より短期の判断、赤色スパンは、より長期の判断となる。

◆「マーフィーFX」YouTube チャンネル登録のご案内。

<https://www.youtube.com/channel/UCTOj289ZKb3JgFqj5RefBcg>

様々なマーフィー流相場分析、解説が動画で無料視聴出来ます。

◆マーフィー流 FX「実践トレードコーチング専用」ライン@のご案内。

以下より登録できます。

<https://www.span-model.com/line/>

◆「スパンオートトレーダー(SAT)」のご案内。

「スパンオートトレーダー(SAT)」とは、「裁量トレード」と「自動売買(EA)」の良いとこ取りをした、とても便利なトレードツールです。

「スパンオートトレーダー」の詳細、及び、お申込みページはこちらです。

<https://www.xfine.info/satrader/>

◆「スパンオートシグナル」のご案内。

スパンモデルを有効に使いこなす為のきわめて強力なツールです。

スパンオートシグナルのご紹介、および、ご購入用ページはこちらです。

<https://www.xfine.info/sauto/>

以上です。